最上義光歴史館サポーター

義光会だより

最上義光歴史館ボランティア活動

No.3
2013年3月

題字　齋藤蕉石

一、「ヨシアキ☆すく～る」の取り組み

今年度は、十一校児童数六七〇人の四年生に講座を学習頂きました。

今までの御意見を踏まえ資料内容を改善し、義光の兜に弾が当たった箇所を拡大する動画等を取り入れて子供たちに興味をもってもらうように編集したり、長谷堂城や山寺、慈恩寺、羽黒山、庄内平野の場所が解るように地図を入れ、義光公と地域の結びつきがより解り易いように工夫しました。

また一方的な説明にならないように先生方との話し合いを密にし、学校側の要望を講座に反映させました。

説明の時間を長く頂いた学校では、陣羽織や裃にちょんまげ姿で登場したり、先生方にも義光に変装していただいたりしながら「ヨシアキ☆すく～る」を盛り上げて頂き大変好評を得ました。

来年度は義光没後四〇〇年にあたる年です。「ヨシアキ☆すく～る」にも四〇〇年イベントで活躍するキャラクター等を取り入れ、少しでも最上義光力向上に役立てる様に会員一同頑張りたいと思います。

二、お客様との交流

多くのお客様に来館して頂きました。その中でも、米沢の直江公の会員が入館された時は緊張しました。直江兼続公と言えば、長谷堂合戦で戦った敵方なのです。

その時は阿部会長も案内されお互いの戦ぶり闘いぶりなどの話が弾み、義光公木像の前で硬い握手をし、これからの最上・上杉の観光活動を誓いあっていました。その後、直江公の会員は長谷堂城、直江本陣、主水塚の見学予定として館を後にしました。

三、会員の資質向上について

本年度は現地研修、講習会を五回実施しました。その中から三点紹介します。

●成沢城の現地研修

会員であり、成沢城跡公園ガイドの河内さんの講師により現地研修をおこないました。成沢城主の話に始まり、整備された成沢城の堀切（のき下）、和合（大手門）、副郭など遺構の構造と特徴等を詳しく案内して下さいました。公園の周囲にある、八幡神社では堀田家との関わりや、成沢道中公木像等の案内を頂き、最後に国重文の石鳥居を見学しました。

●長谷堂合戦鳥瞰図の研修

鳥瞰図作者の松本さんから説明を受けました。鳥瞰図に添って上杉軍が最上領に侵略し、戦いが起こり撤退をした史実を解りやすく説明を受けました。

●最上地方の現地研修

十月九日最上地方の現地研修が行われました。

鳥越楯から新庄藩主戸沢家墓所では、戸沢家の歴史が覗え、最上家にもあればなといった声が聞かれました。

戦国時代、庄内、秋田と最上郡の領地を争う最上氏の本拠地となった清水城、最上氏に臣従し最上氏重臣として活躍した鮭延氏が居城した鮭延城では、現地のガイドさんが、案内して下さいました。

金山城跡や金山町の町並み、維持管理などについては役場の方が案内して下さいました。

最上義光公との関わりを現地で研修する事ができました。

清水御前のお墓（光明寺）

編集後記

今年度は、桜咲く頃、四〇〇年記念祭が開催され、一年間、多くのお客様が、入館されると思います。沢山のお客様との出会いを紹介する為に、交流内容を記載しました。

お客様に最上義光力を向上していただくチャンスの年です……悔いのない一年にしたいものです。

（佐藤）